

「わからない」から 「見つけた！」へ： Geminiを自分専用の 辞書にする

中学部国語科における生成AI活用
による読解支援の実践報告

教科：国語 | 単元：文章を読んで宝探しをしよう

Gemini

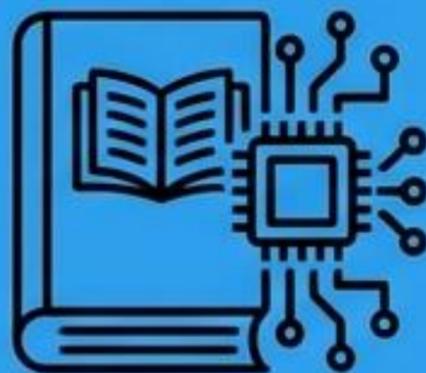


実践のハイライト (Executive Summary)



課題 (The Challenge)

語彙不足により「わからない」と感じると思考が停止し、自力での読解が困難になる。



解決策 (The Solution)

教師による「プロンプト事前設定 (1年生の漢字・平易な表現)、生徒用の「助けてカード」の併用。



成果 (The Impact)

調べることへの抵抗感が消え、全員が自力で正解 (宝) に到達。主体的な学習姿勢への転換。

生徒が直面していた「言葉の壁」

思考の停止

文章の読み取りに苦手意識があり、知らない言葉に出会うとそこで思考が止まってしまう。

従来の辞書を引くことの難しさ

辞書は漢字や文字量が多く、意味を捉えることにハードルが高い

デジタルの親和性

タブレット操作やYouTube検索は得意だが、学習への活用法を知らない。



ねらいは「AIに聞いてみようか」という発想ができるように



即時解決



不明語句をその場で解決し、
読解のリズムを崩さない。

心理的安全性



誰にも気兼ねなく質問できる
「自分専用の辞書」を提供する。

成功体験



「自分で調べられた」という
自信（自己効力感）を育む。

教師による「見えない」環境整備

生徒が使う前に、教師があらかじめGeminiに以下の条件（システムプロンプト）を付与。



AIを「ただの検索エンジン」から
「生徒の読解レベルに合わせた辞書」へとチューニング

生徒とAIをつなぐ「助けてカード」

自分の「困り感」を言語化し、AIへの指示に変換するツール。

かん字だらけでよめない...

ひらがなでおしえて



ことばがむずかしくてわからない

わかりやすくおしえて



ながくてかけない...

かんたんにまとめて



もっとくわしくしりたい!

もっとおしえて



Noto Sans JP

授業の流れ：宝探しミッション



検証：AIは生徒にどう答えたか？



平易な表現

「てっだい」は、だれかがなにかをするとき、いっしょにそれをする事です。

身近な具体例

お母さんが料理を作っている時...など、生徒が想像できる場面を提示。

視覚的配慮

難しい熟語を使わず、空白行を入れて読みやすく整形。

なぜWeb検索ではなくGeminiなのか？

従来のWeb検索

- ✗ 情報量が多すぎる
- ✗ 広告が表示される
- ✗ 漢字が難しく解説が読めない
- ✗ 検索ワードの選定が難しい

✓ 調整されたGemini

- ✓ 回答がその場で作られる
(情報の絞り込み)
- ✓ 広告ゼロ
- ✓ 「小学1年生の漢字」で
出力される
- ✓ 自然言語で会話できる

授業の様子：集中と協働



主体性 (Agency)

「やらされている」のではなく、自分から前向きに調べ学習に取り組む姿勢。



集中力 (Focus)

ひらがな中心の情報が表示されるため、余計な情報に惑わされず文章に集中できた。

直面した課題：AIの限界と人間の役割



- **文脈のズレ**
物語の文脈とは異なる一般的な意味を答える場合がある（教師の精査が必要）。
- **精度の低下**
連続使用していると回答精度が落ちることがある。
- **「わかりません」の壁**
期待した答えが出ない時、そこで止まってしまいう生徒もいた（まだAI任せな部分がある）。

今後の展望：プロンプト・エンジニアリングへ

「助けてカード」を選ぶ



「助けてカード」
を選ぶ



自分の言葉で調整する
(再質問)

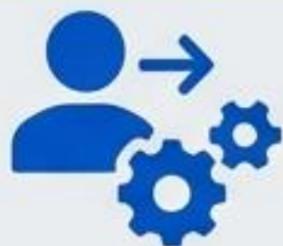


自分の言葉で
調整する (再質問)

AIの回答が適切でない場合、生徒自身が「もう一度別の言い方で聞いてみる」スキルを育て、AIを使いこなす「対話力」を育成する。

導入のための3ステップ（再現ガイド）

1. 定義（Persona）



教師が事前に「誰に向けた説明か」「使用する漢字レベル」をAIに入力しておく。

2. 可視化（Visuals）

生徒のつまづきを予想し、それを解決するコマンドをカード化して提示する。



3. 伴走（Monitoring）



AIの回答を教師が巡回して確認し、誤った情報が出ていないかチェックする。

テクノロジーは「読むこと」を代替しない。 読むための「梯子」になる。



語彙の少なさが学習の壁になってはならない。
適切なICT支援があれば、子どもたちは自力で正解に辿り着く力を持っている。